

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第4回 西東京市下水道審議会
開催日時	令和7年11月21日(金) 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	保谷東分庁舎地下1階会議室1
出席者	<p>【委員】岩崎会長、山岸副会長、入山委員、樋渡委員、小谷野委員、柴田委員、定留委員、横井委員、加藤委員</p> <p>【事務局】下田都市基盤部長、長塚下水道課長、林課長補佐兼業務係長、日下部工務係長、乙幡施設管理係長</p> <p>【欠席者】0名 【傍聴人】0人 【計画策定支援事業者】1名</p>
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項 西東京市下水道プラン(経営戦略)(素案)</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料8 西東京市下水道プラン(経営戦略)(素案)</p> <p>資料9 前回審議会からの主な修正事項</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>< 1 開会 ></p> <p>(事務局より開会のあいさつ)</p> <p>○事務局：西東京市下水道プラン(素案)の計画策定事業者の同席を了承願う。</p> <p>< 2 協議事項 ></p> <p>(1) 西東京市下水道プラン(経営戦略)(素案)</p> <p>○会 長：議題1、西東京市下水道プラン(経営戦略)(素案)について、事務局より説明願う。</p> <p>○事務局：「西東京市下水道プラン(経営戦略)(素案)」を50分程度説明。 (資料8、9に沿って「西東京市下水道プラン(経営戦略)(素案)」について説明)</p> <p>○会 長：事務局からの説明について、何か意見、質問等あるか。</p>	

○委員：八潮市で発生した大規模陥没事故を踏まえ、国交省で下水道管きよの全国特別重点調査を実施し、緊急度判定対象である全国約 621 k m の管きよのうち 300 k m が 5 年以内の対策が必要であると結果が出ているが、西東京市の状況はどうかを示してほしい。他にも資料 9 の審議会からの指摘・意見の③の部分で、私は前回の質問で改築工事の費用額とその費用額を削減するためにどのような工法を使用するのかという意味で質問したのだが、若干質問と回答に矛盾が生じていると思う。

また、市民への下水道事業の周知について、私自身も市のホームページをよく拝見するが、わかりづらい部分が多い。姿の見える下水道事業ということで、市民が求めている情報を的確に伝えて欲しい。

○事務局：西東京市は約 400 k m の汚水管渠があるが、老朽化対策はストックマネジメント計画に基づいて進めている。1～3期で計画。現在1期目が進行している。該当箇所の工法については調査の上で管更生や布設替えを進めている。全体的な工事費は出しづらいが、その辺りは予算や予算の概要で周知をしていきたい。また、八潮市の件を踏まえ、主要な管渠は、国の指示の前に独自に進めており、問題が無かったことを市報でお示しさせていただいたが、わかりづらい部分もあると思うので、市民への見せ方については、ホームページのどの辺りに掲載するかを工夫していきたい。

○委員：追加で確認だが、全国特別重点調査のうち、緊急度 I 要対策延長の 72 k m の中に西東京市の下水道管きよは該当しない認識でよろしいか。

○事務局：その認識で相違ない。

○委員：P63にある経営比較分析表は令和元年度資料を付けているが、公開している最新の資料を貼り付けたほうが良いと感じている。投資財政計画についても、前回使用していたものを貼り付けていると思うが、このような資料の場合は、令和7年度決算の資料を貼り付ける等して、市民になるべく最新の資料をお見せした方がいいのではないかと考えている。また、現在編集中だと思うが、余白部分が多いのも気になった点である。

○事務局：経営比較分析表や投資財政計画は、一部だけでは理解して貰いにくいので、今回は伏せる形とさせていただいた。また、パブリックコメントの段階で予算は固まっていないため、掲載する予定はない。なお、余白部分について

は、現状よりも減らしていく方向で今後も検討していきたいと考えている。

- 委員：パブリックコメントの掲載について、経営戦略等、現時点で詳細を載せることができない部分についてはどのように対応していくのか。
- 事務局：詳細を掲載できない理由を入れる形で対応したいと考えている。
- 委員：ウォーターPPPの導入の検討で、前は民間活用の検討と記載されていたと思うが、導入可能性の検討に変わっている。導入可能性の検討だけでは、可能性の有無の検討だけで終わってしまうのでは。
- 事務局：ウォーターPPPは分かりやすく言うと市と民間企業が連携して下水道の維管理業務をする方法であるが、民間企業の意向なども含め、ウォーターPPPの導入が可能か調査する必要がある。導入の可能性があると判断した後で活用を検討する流れとなる。
- 委員：図表のタイトルの位置は図の上が基本であり、上下をそろえて欲しい。他にも資料の図面に番号を振っているが、文章内に参照文の記載がないのに図面に番号を振る必要はないと思う。また、P13、14の写真が令和3年の下水道プランと同じものが使われているが、状況は変わっていないのか。
- 事務局：図表のタイトルの位置及び番号については、もう一度事務局の方で整理させていただく。また、写真についても、新たに整備された場所があれば変更を検討していきたい。
- 委員：「ウォーターPPP 導入可能性調査」ではわかりにくいので、導入の検討や活用に向けた検討等、わかりやすい表現にした方が良いのではないかと。また、P19、43の台帳システムの図が現行のプランと同じものが貼付されているだけで、市民としてはわかりづらいと思う。例えば管の口径の大きさ等、下水道台帳の内容について説明を入れたほうが良いのではないかと。他にもP45に白子川一号幹線と白子川六号幹線の位置関係がわかる図面の導入を再検討してほしい。
コラムについても、現状2つだけとなっているが今後増やしていく予定はないのか。コラム案として、流域下水道(P3)、流域関連公共下水道(P3)、企業会計の資本費や維持管理費(P29)、流域治水の考え方(P45)等、市民の方々に馴染みのない言葉についてはコラムを入れてみるのはどうか。今後、使用料

値上げの検討を始める必要が出てきた場合、市民にわかりやすく説明するためにも、例えば使用料収入 100 円のうち〇〇円が維持管理費に、〇〇円が企業債の償還に使われている等のコラムがあれば説明がしやすいのではないかと。他の自治体で市民への説明がしっかりとされていないという理由で料金改定が議会で否決され、その後、段階を踏んで市民説明を実施後、再度同様の内容で出したら可決された例もある。これを踏まえ、現時点から市民に対して丁寧な説明を心掛けたほうが良いのではないだろうか。

○事務局：パブリックコメントまでに間に合うかわからないが、最終的には皆さまからご意見いただいた内容についても反映させていただき、市民の方々にわかりやすい下水道プランを提供できるよう努めていきたいと考えている。

○委員：今後のスケジュールについて、実質的な審議が第5回（来年1月）に終わるものと考えているが、第5回の審議会ではパブリックコメントの結果を踏まえて、下水道プランの内容を検討していくということによろしいか。また、資料8の第7章から第9章にかけて令和8年度の予算に関する情報が載っていないということだが、第5回の審議会では令和8年度の予算の詳細が反映された状態で、審議ができるということなのか。

○事務局：事務局で、12月5日からのパブリックコメントを反映した形で最終案を作成し、第5回の審議会では委員の皆様にご審議いただいた上、修正が必要であれば加えていき、最終的な方針が出るものと考えている。なお、第7章及び第8章の予算部分については、1月の段階では予算が固まらないため具体的な数値を出すことは難しいものと考えているが、可能な範囲で、皆様にわかりやすくお示ししたいと考えているところである。

○委員：P47のところ、地震対策、大規模事故対策を説明しているが、地震対策部分の説明が少ないように感じている。能登半島で地震があり、管工事組合として現地へ赴いたが、市民の方々はなぜ水が出ないのかを具体的に理解していなかった。そのような状況を踏まえると、下水道の整備が進まない限り水を出すこともできないということを市民に分かりやすい形で伝えたほうが良いのではないかと考えている。

○事務局：水道と下水道の仕組みについても、コラムで下水道プランの方に導入できるか検討していきたい。

< 3 その他 >

○会 長：その他について、事務局より説明願います。

○事務局：事前に配布した第3回会議録の内容に修正点がなければ、承認いただきたい。

○会 長：第3回審議会の会議録(案)についてこれでよろしいか。

(「はい」の声あり)

○会 長：事務局よりほかにあるか。

○事務局：次回の審議会は来年1月21日(水)14時からを予定している。
また、本日いただいた資料8に対するご意見等については、12月5日から予定しているパブリックコメントまでに、できる限り反映したいと考えている。

< 4 閉会 >

○会 長：本日の予定の審議は全て終了し、第4回の下水道審議会は以上とする。